

福島市周辺橋梁の地震損傷 (速報)

2022年3月16日福島県沖地震被害調査報告

2022年3月20日

党（埼玉大）、王（足利大）

概要

3月16日深夜における地震による被害を調査するために、3月20日、21日に渡って日が調査を行う。

参加者：党紀（埼玉大）、王欣（足利大）

ここに第1報として、福島市周辺の橋梁の被害状況について報告する。

概要

- 福島市周辺における橋梁被害情報として、土木学会地震工学委員会の情報、前報井上先生、植村先生の調査、および福島市のページによる情報を参考して、5つの橋梁の調査を行った。
- 特徴：阿武隈川沿岸、支承の破壊、橋台の被害、段差



月の輪橋 東側橋面における段差



月の輪橋 東側



北側橋台パラペットの損傷、
鉄筋露出、伸縮装置の損傷



南側橋台の損傷

月の輪橋 東側 ゴム支承



北側ゴム支承、残留変移なし、
表面ひび割れ（オゾン劣化？）



南側支承、表面ひび割れなし



月の輪橋 東側 ゴム支承 削り跡



伊達橋 伸縮装置損傷、可動支承破壊



伊達橋 支承の経年劣化



軸にさび、水平変移追随機能の劣化
カーバープレートも亀裂

伊達橋



UAV撮影

中間支承が切断され、部材が飛び出している。
中間支点における鉛直支持なし、トラス橋の浮いている

大正橋



あんまり損傷を見つからず、修復済みで、通常使用されている。

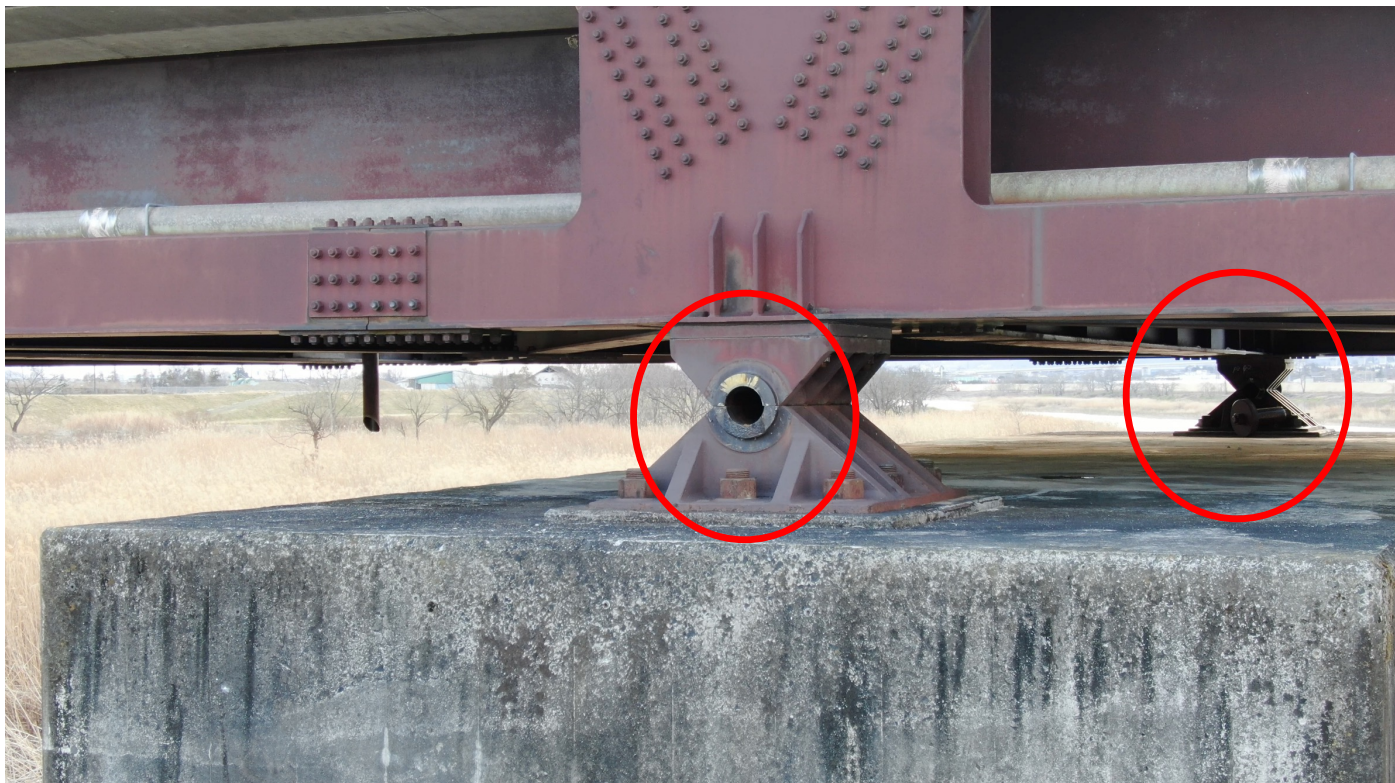


周辺に水位表示柱が倒れている

昭和大橋 UAVで取られた支承破壊



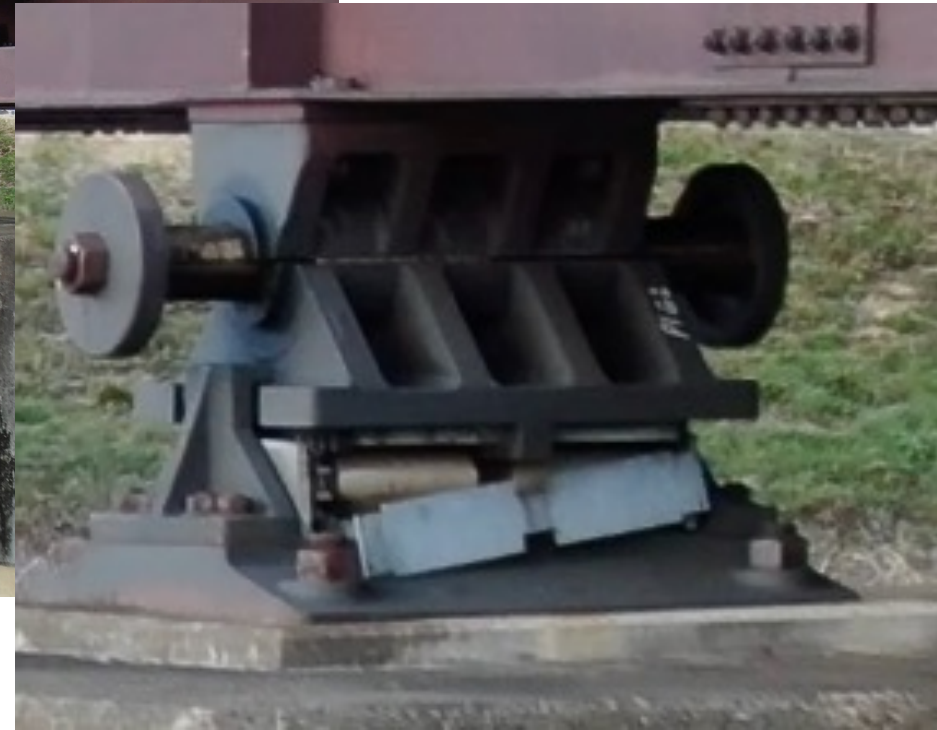
昭和大橋



反対側(西側)も
損傷

ピンは行方不明

昭和大橋



伊達崎 伸縮装置における段差



支承の状態を確認できていない